

# 柏崎地域における観光の経済波及効果調査結果

柏崎地域観光推進協議会

平成 28 年(2016 年)3 月

柏崎地域観光推進協議会では、平成 26 年(2014 年)から平成 27 年(2015 年)にかけて、「柏崎地域の観光経済波及効果等に関する調査」を行いました。

この調査は、当協議会を構成する柏崎市、刈羽村及び出雲崎町の 3 市町村からなる地域（以下「柏崎地域」といいます。）を訪れた観光客にアンケート調査を行い、柏崎地域における観光消費額を把握するとともに、その観光消費が地域内に及ぼす経済波及効果を推計したものです。

## 1 <アンケート調査について>

○平成 26 年(2014 年)秋から平成 27 年(2015 年)夏まで、四季ごとに柏崎地域内の 5 地区（柏崎、高柳、西山、刈羽、出雲崎）の観光地点で、調査員が観光客に聞き取りのアンケート調査を行いました。

調査地区	調査を行った地点
柏崎	日本海フィッシャーマンズケープ、東の輪海水浴場、鯨波海水浴場
高柳	じょんのび村
西山	西山ふるさと公苑、大崎雪割草の里、日本海石地わさび園、石地海水浴場
刈羽	ぴあパークとうりんぼ
出雲崎	越後出雲崎天領の里

○方法はアンケート調査票に基づいて、訪問した地点、柏崎地域での観光消費額、満足度などをお聞きしたもので、延べ 40 日間の現地調査で合計 2,677 人の観光客からご回答いただきました。

## 2 <柏崎地域への観光客の特色>

○回答を集計した結果、四季ごとの来訪者には、次のような特色が見られました。

### 春

- 県内客：県外客＝ 7 : 3
- 県外客は多い順に群馬、東京、長野、埼玉、千葉
- 子供連れの家族旅行が多く、年齢層が比較的若い
- 1 人の消費額は 3,758 円

### 夏

- 県内客：県外客＝ 4 : 6（県外が県内を上回る）
- 県外客は多い順に群馬、長野、埼玉、東京、栃木
- 子供連れの海水浴客が多く、年齢層が比較的若い
- 1 人の消費額は 3,147 円（四季のうち最も低い）

### 秋

- 県内客：県外客＝ 6 : 4
- 県外客は多い順に群馬、長野、東京、埼玉、福島
- 夫婦旅行、家族旅行が多く、年齢層は比較的高い
- 1 人の消費額は 5,352 円（四季のうち最も高い）

### 冬

- 県内客：県外客＝ 8 : 2（近いところからが多い）
- 県外客は多い順に東京、長野、群馬、埼玉、福島
- 夫婦旅行が多く、年齢層は比較的高い
- 1 人の消費額は 3,657 円

### 3 <1人あたりの観光消費額>

○四季の調査を集計した結果、観光客1人の1回の旅行における柏崎地域での観光消費額は、下表のとおりとなりました。

	宿泊	日帰り
全体	3,936円	
	17,345円	2,542円
県内	8,827円	1,814円
県外	20,308円	3,716円

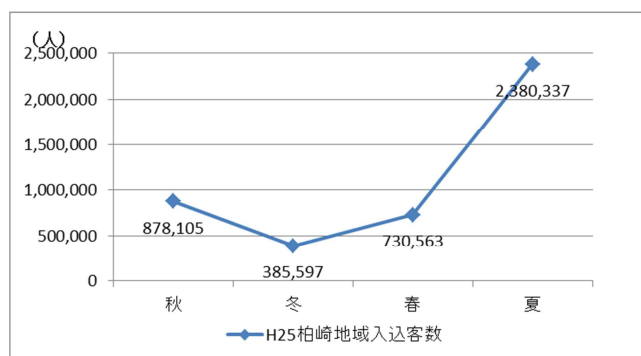
※聞き取りでは直接的には宿泊の有無を尋ねていないため、宿泊費またはパック旅行代金の支払いが1円以上あったと回答した人を「宿泊した」とみなしています。

### 4 <観光消費額（全体額）の推計>

○アンケート調査で把握した1人あたりの観光消費額から、柏崎地域における観光消費全体額を推計するため、新潟県観光入込客統計から、柏崎地域（柏崎市、刈羽村、出雲崎町）の入込客数を使用しました。この調査で使用したのは直近の平成25年観光入込客統計で、県全体の入込客数は71,601,558人、うち柏崎地域の入込客数は4,374,602人です。

※アンケート調査の結果、柏崎地域への観光客が、1回の旅行で地域内の複数の観光地を周遊する割合は少ないことが分かりました。上記の入込客統計は延べ数ですが、このことから柏崎地域の場合は実数に近いものと考えています。

※推計にあたっては単に（1人あたり消費額×年間入込客数）とするのではなく、四季ごとに把握した1人あたり消費額にその季節の入込客数を乗じて算出しています。



(単位：百万円)

○その結果、年間観光消費の全体額は右表のとおりとなり、柏崎地域の年間入込客437万人が地域内で消費する額は、164.4億円と推計されます。

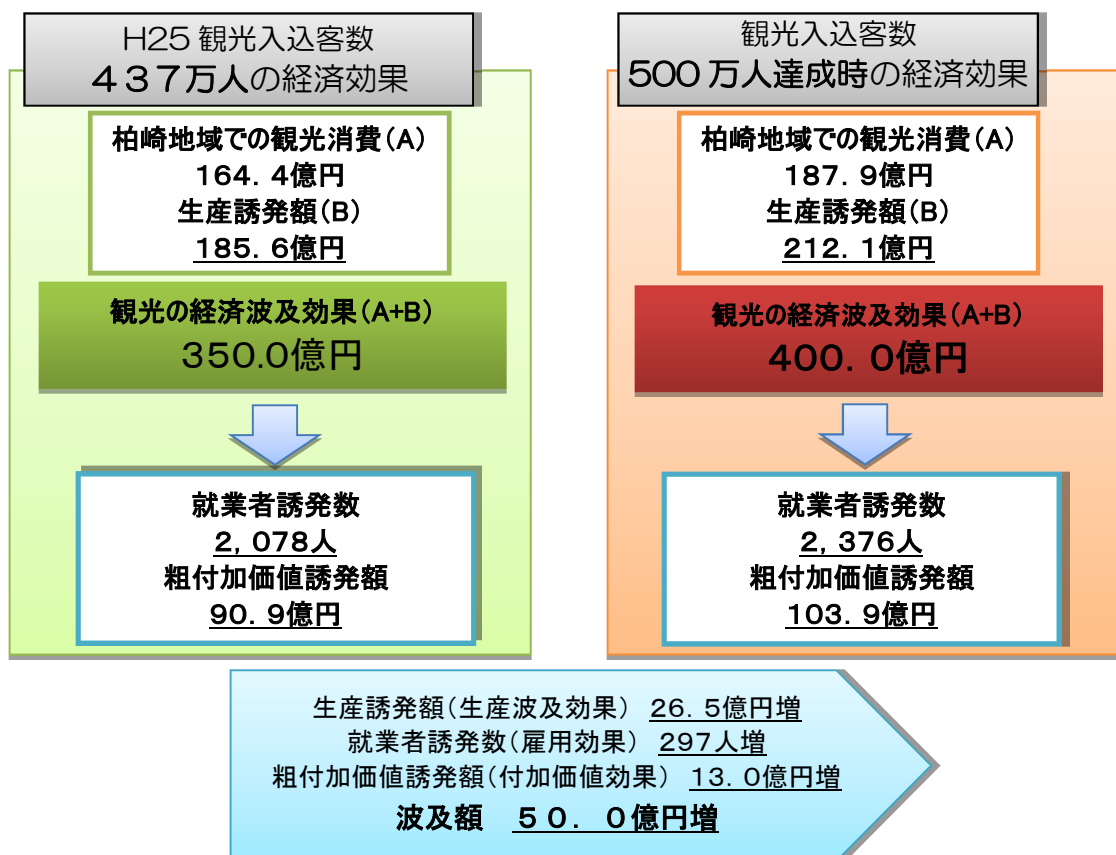
	秋	冬	春	夏	通年
パック旅行代金	614	142	121	115	991
交通費	501	230	299	1,353	2,384
宿泊費	868	223	600	1,447	3,138
土産代	1,538	417	824	1,768	4,546
飲食費	1,111	333	865	2,152	4,461
入場料	94	51	35	462	642
その他	69	16	1	194	280
総額	4,795	1,410	2,746	7,490	16,441

○四季別にみると、当地域では夏の観光入込客数が多いことから、夏の消費総額が最も高く、次いで秋が高くなっています。

○消費額の内訳をみると、土産代と飲食費の割合が高く、この2つを合わせて全体の半分以上となっています。宿泊した割合が多くないため、全体に占める宿泊費の割合は土産代や飲食費より低くなっています。

## 5 < 柏崎地域における観光の経済波及効果の推計 >

- 新潟県観光入込客統計における柏崎地域の平成 25 年観光入込客数 437 万人と、今回の調査で把握した一人あたりの消費額に基づいて推計したところ、柏崎地域における観光消費額は 164.4 億円となりました。
- 次にこの消費が柏崎地域内に及ぼす経済波及効果を推計しました。推計にあたって使用する産業連関表については、新潟県産業連関表（平成 21 年延長表）をベースとし、農業産出額、市町村内総生産、製造品出荷額等、従業者数、人口を指標として、柏崎地域（柏崎市、刈羽村、出雲崎町）を案分する方法により、柏崎地域の産業連関表を作成しました。
- 柏崎地域における観光の経済効果は、観光消費額 164.4 億円と、この消費が生み出す生産誘発額 185.6 億円を合わせた、350.0 億円と考えられます。
- 柏崎地域の観光消費が生み出す付加価値効果（粗付加価値誘発額）は、90.9 億円と考えられます。これは柏崎地域産業連関表で推計した域内総生産(GRP)4,352 億円の 2.1%に相当し、柏崎地域経済への貢献度を表しているともいえます。
- 観光誘客の取り組みにより柏崎地域の観光入込客数が 500 万人に増加したとすると、その場合の経済効果は 50 億円増えて 400 億円になると考えられます。
- このほか、観光客 1 人あたりの消費額を増やす取り組みによっても観光消費額を増加させることができ、ひいては経済効果全体を押し上げることになります。

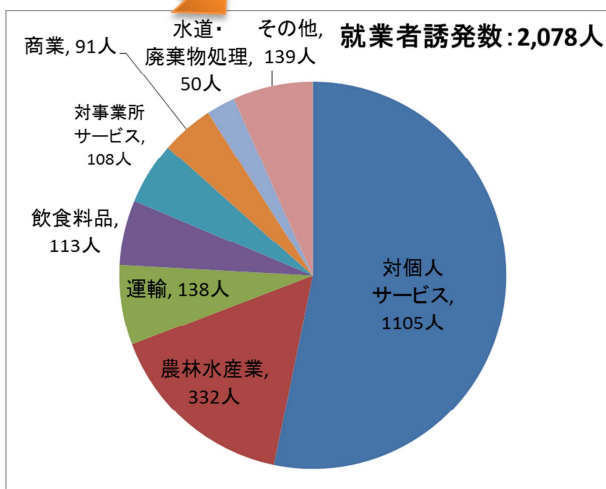
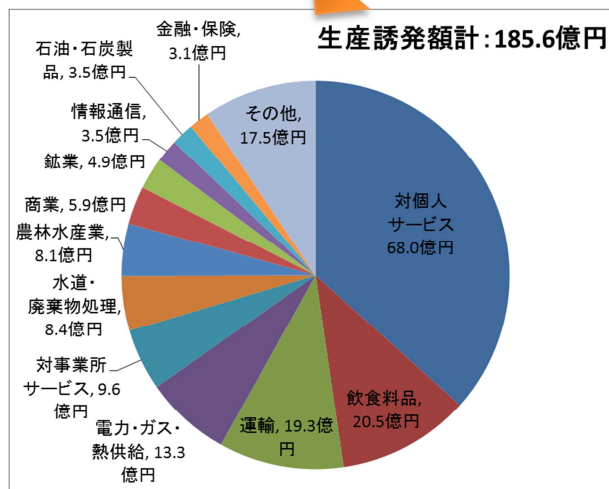
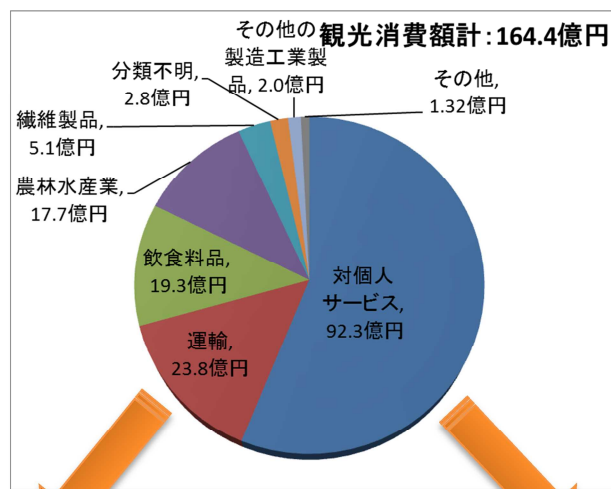


## 6 <産業別の経済効果の推計>

○観光客の消費が柏崎地域内の産業にもたらす影響に着目し、産業別の波及効果を推計しました。

○柏崎地域における観光消費額 164.4 億円の産業別内訳では、代表的な観光産業である宿泊業や、飲食店等のサービス業が含まれる「対個人サービス」の消費が 56% (92.3 億円) を占めます。次いで、運輸が 14% (23.8 億円)、飲食料品が 11% (19.3 億円) となります。

○生産誘発額や就業者誘発数において、波及していく先の産業はさらに多岐にわたっていることから、観光消費が柏崎地域の多くの産業に影響していることがわかります。



## <柏崎地域観光推進協議会について>

柏崎地域観光推進協議会は、中越沖地震により被災した柏崎市、刈羽村及び出雲崎町の観光協会、観光事業者、行政等関係者が一体となって取組を展開することにより、観光産業の振興と活力あふれる地域づくりに寄与することを目的として、平成 26 年(2014 年)8 月に設立した団体です。

## <お問い合わせ>

この調査に関する詳細のお問い合わせにつきましては、下記までご連絡ください。

新潟県柏崎地域振興局 企画振興部 地域振興課

電話 0257-21-6208 FAX 0257-23-6195

電子メール [ngt111810@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt111810@pref.niigata.lg.jp)